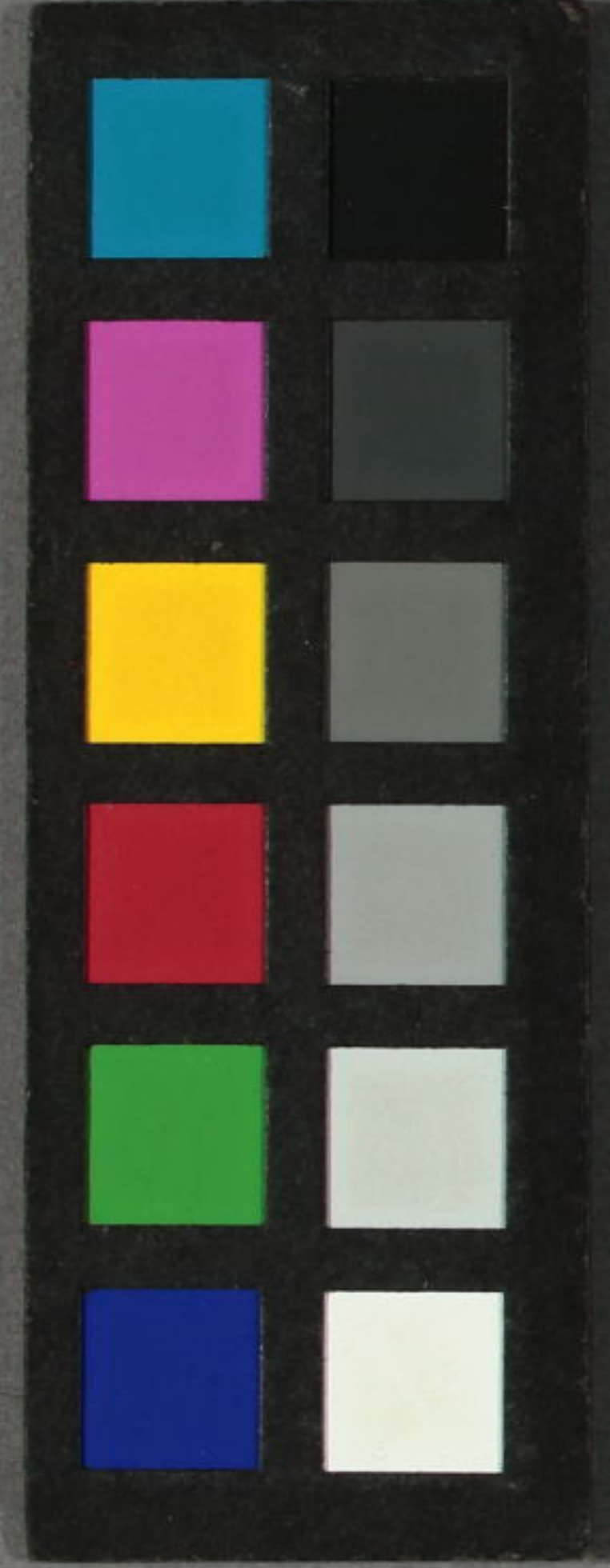
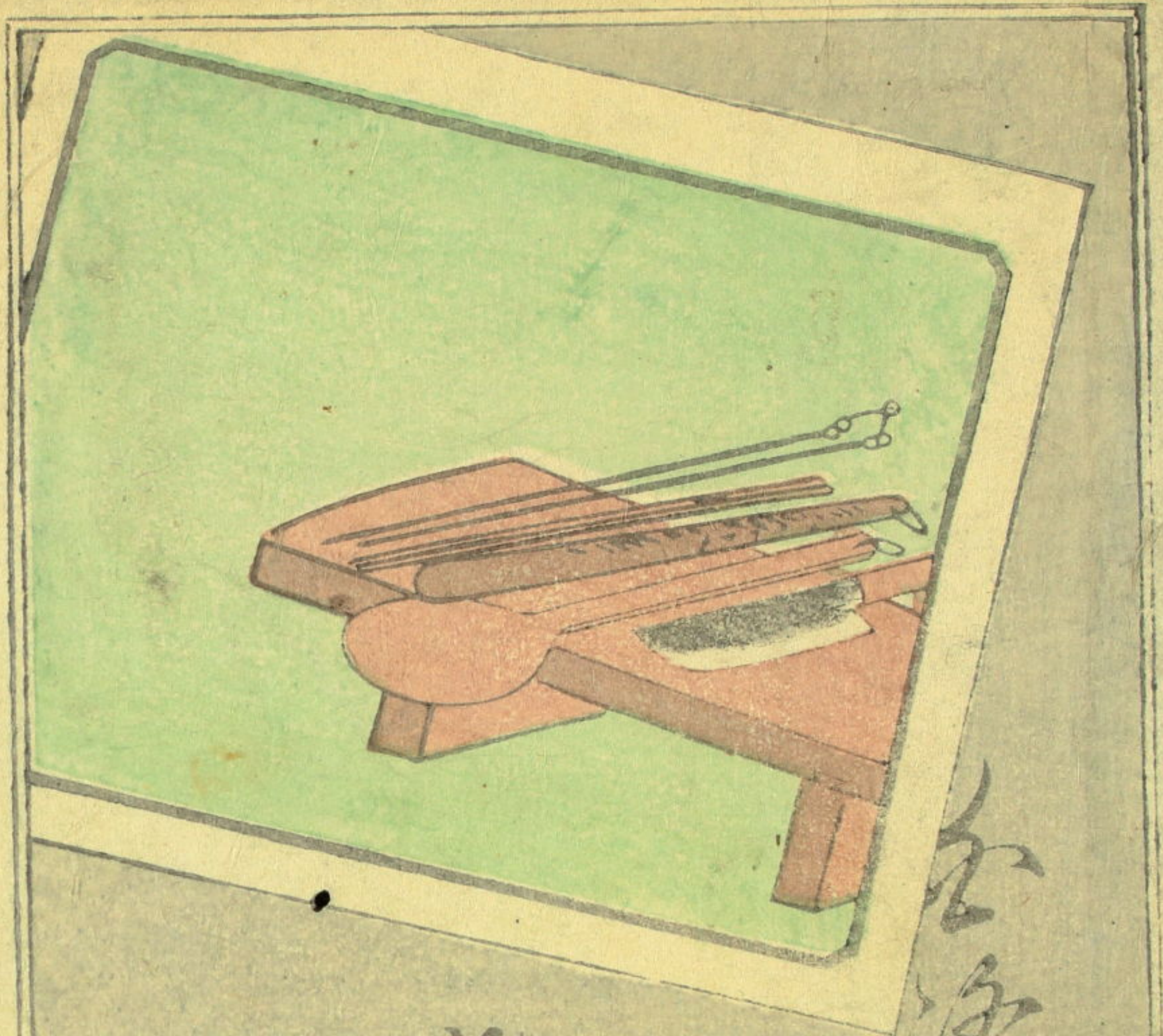
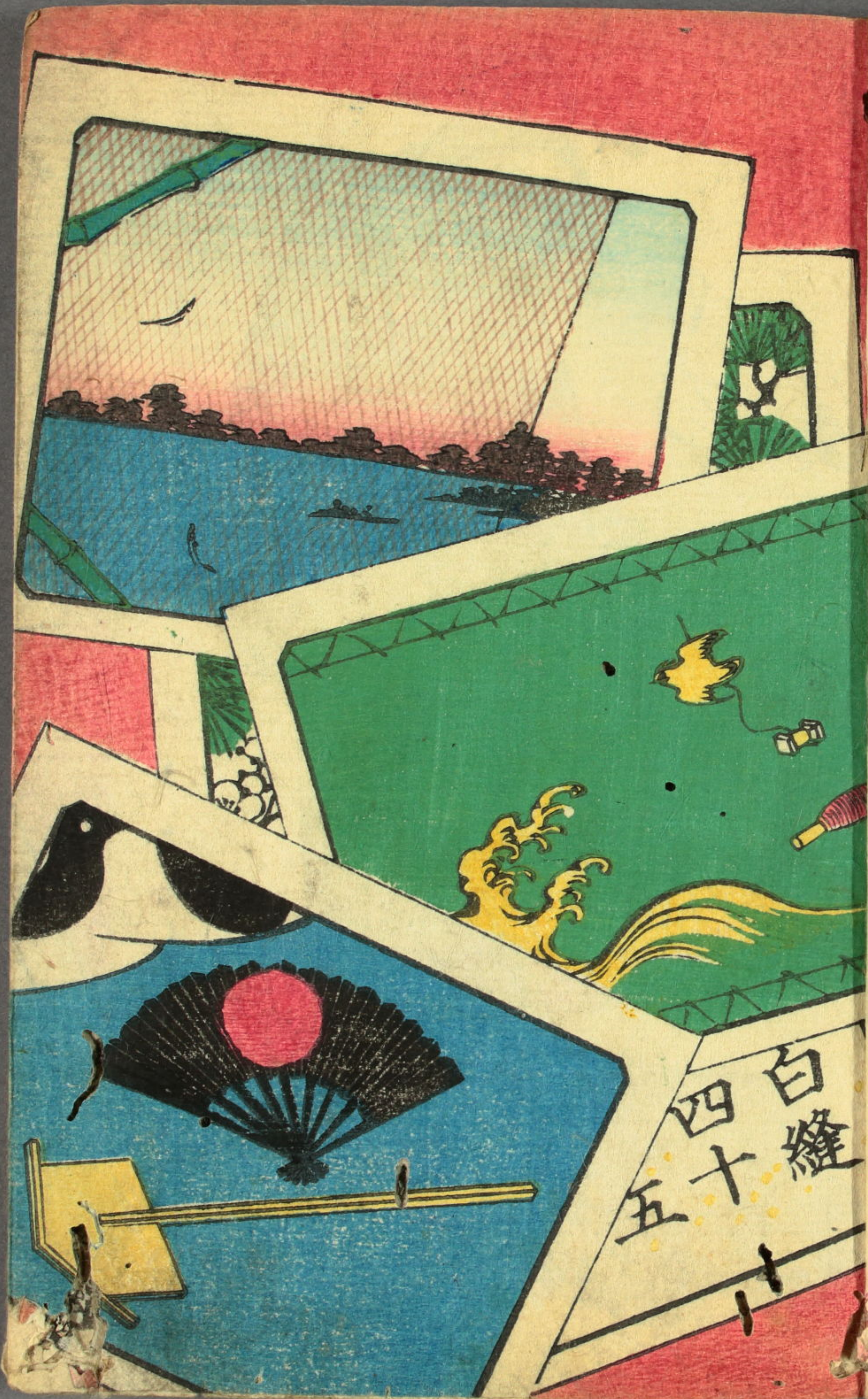


高麗毛物記
記中五
南

^ 13
3162
24





全
縫
物
情

四十
五
編

下の
景

梅
多
化

一
直
多
結

廣
幸
椿

高ね 彦作 芳築

畫



四十五編下

廣孝板

あま



あまね

四十五編上

門へ 13
3162
24

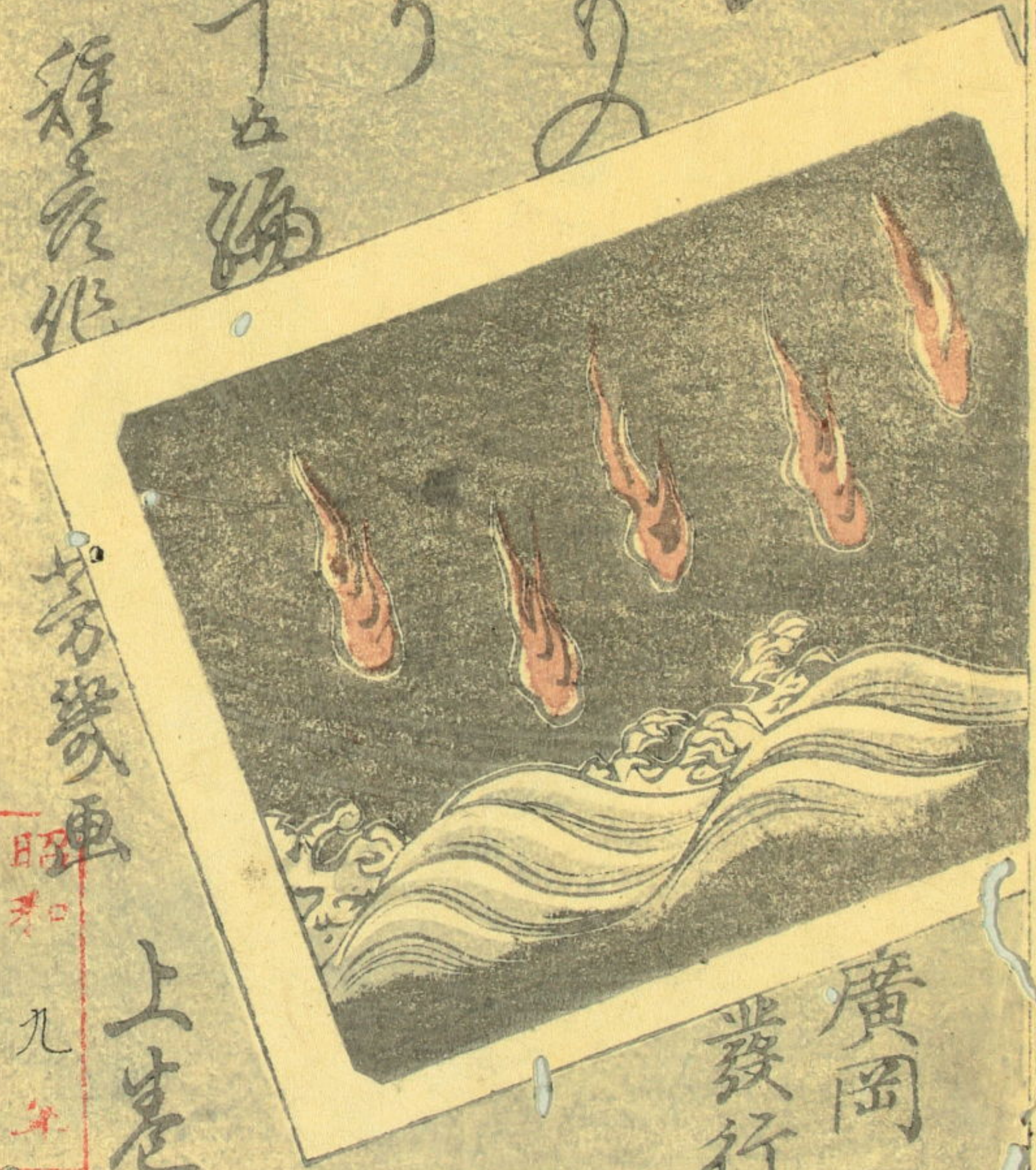
心
まぬ
の
うら
四十五編

芳翁画

上巻

昭和九年
十月二日

程長化



廣岡
發行

一

若狭國
青井山
崖松寺



此の物語帳数多く重なり四十五編不到りも猶あり
なれ條々の増るとも聲の期よりこの間に經行年月なり
然計あらずを事おもわざれば春之助も秋作
齒の幾箇う其の知らばもうえ服でも志きうを
めめとおやせあ方もあれあ非也先作者う十七編の
序文は廿五歳で若衆の考證一代女を引うし心既に
十年の昔るれと作其話の二三年の間の更み過され急
に失ぬ童貞假令實の康うとも若く字まう夢想と國
名まも若狭の語引續く二三編人魚を寧と白尼の齡虚
八百を並べら中にも兩三回用がる若菜姫の常若る面影
し又此次編より貴眼み觸んと奥画の預標袋の竹の緑小因む
寺の遠景と序文の上又字と縁飾の文様を換つ

柳真種彦



足利勾麗比賣



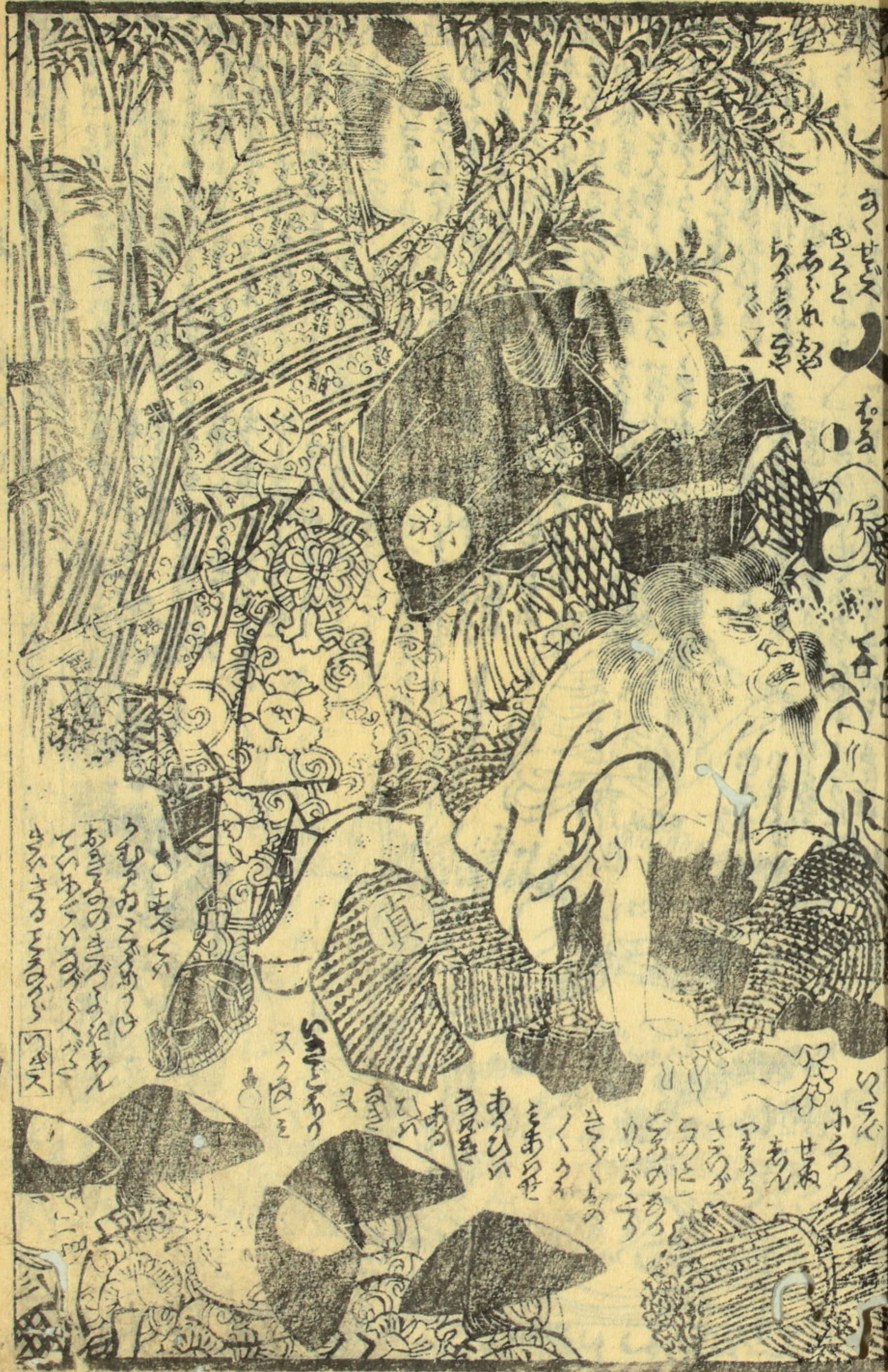
龜谷多門之助



陰澤於娜兔

五二〇四一五





あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

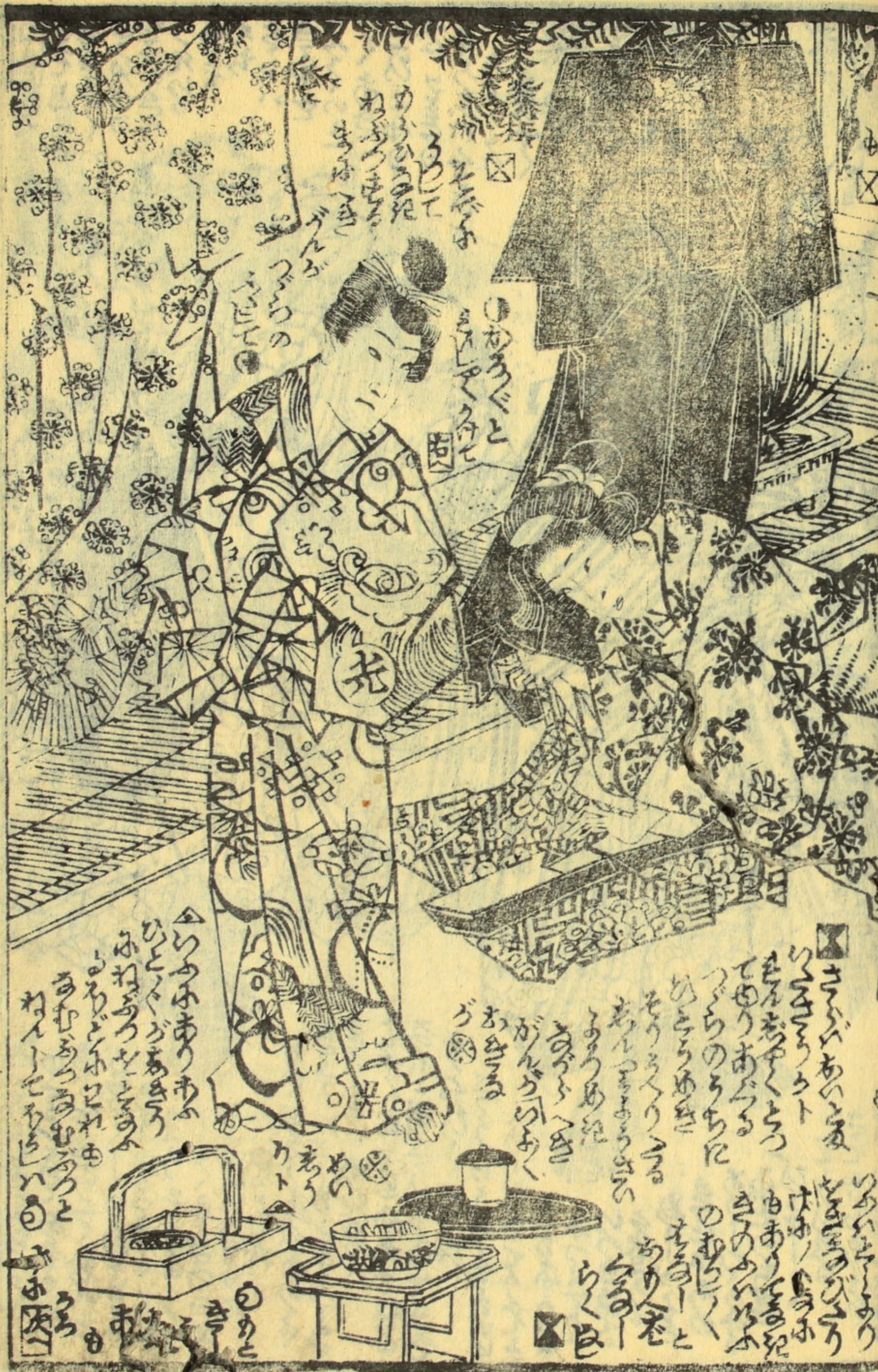


あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす
あつちのきりぎりす

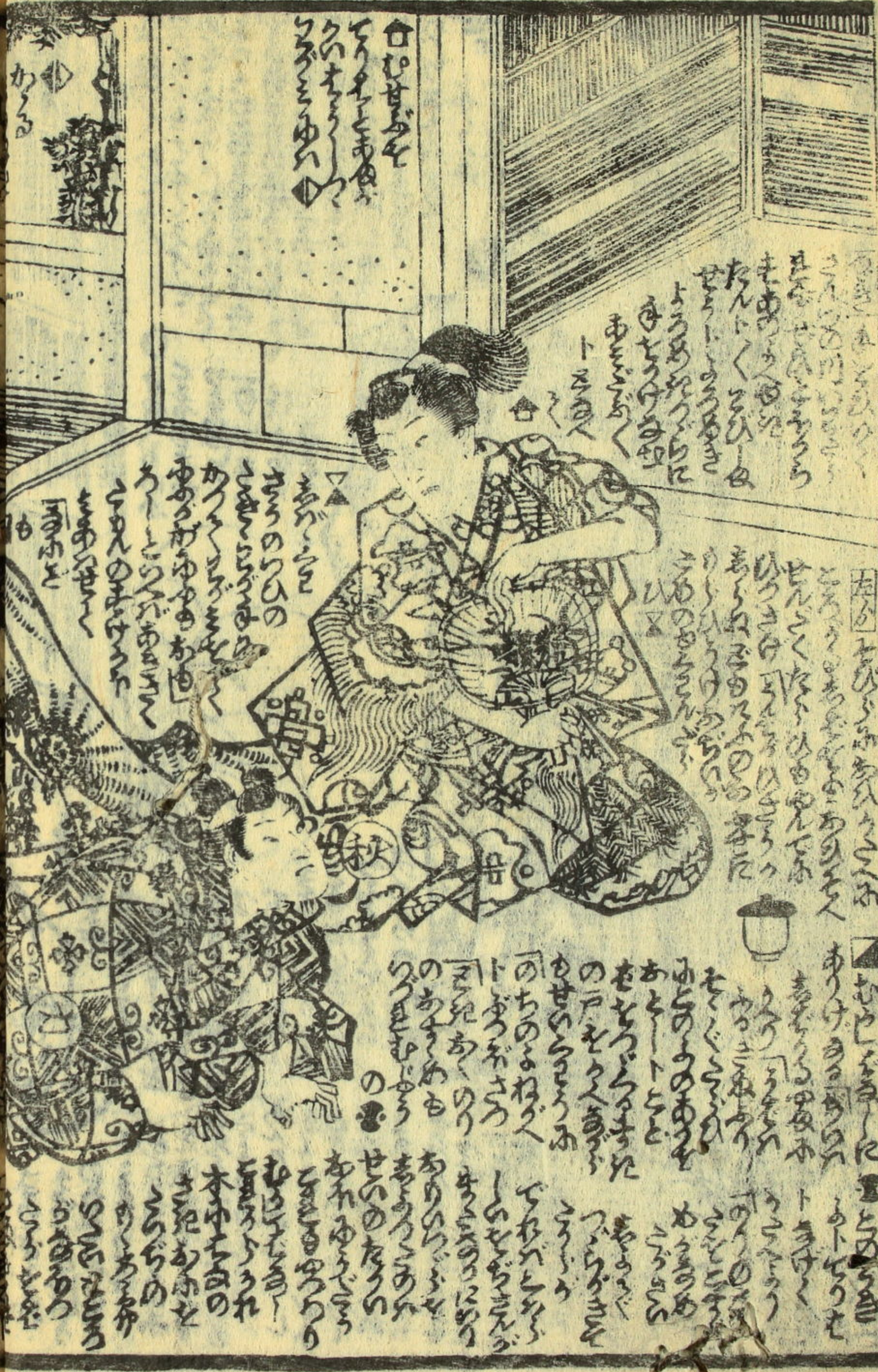


かきかき
ねんねん
まはまは
かきかき
ねんねん
まはまは

ひらひら
ひらひら
ひらひら
ひらひら
ひらひら
ひらひら

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは



かきかき
ねんねん
まはまは
かきかき
ねんねん
まはまは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは

あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは
あはあは



うきんのもう
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを

あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを

あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを

人四十五

あつてうきんを
あつてうきんを

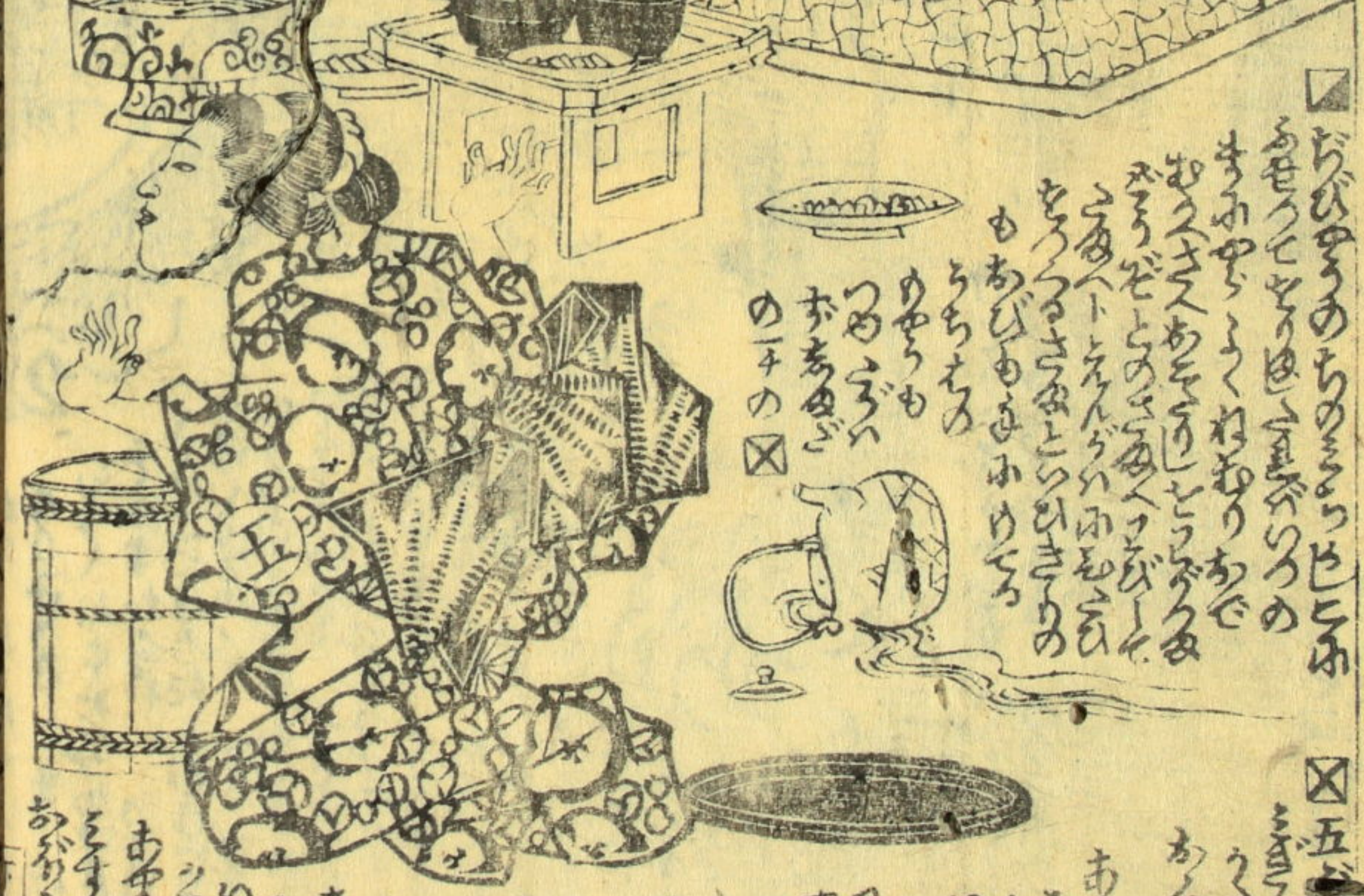


あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを

あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを
あつてうきんを

人四十五

種彦著 芳艸集



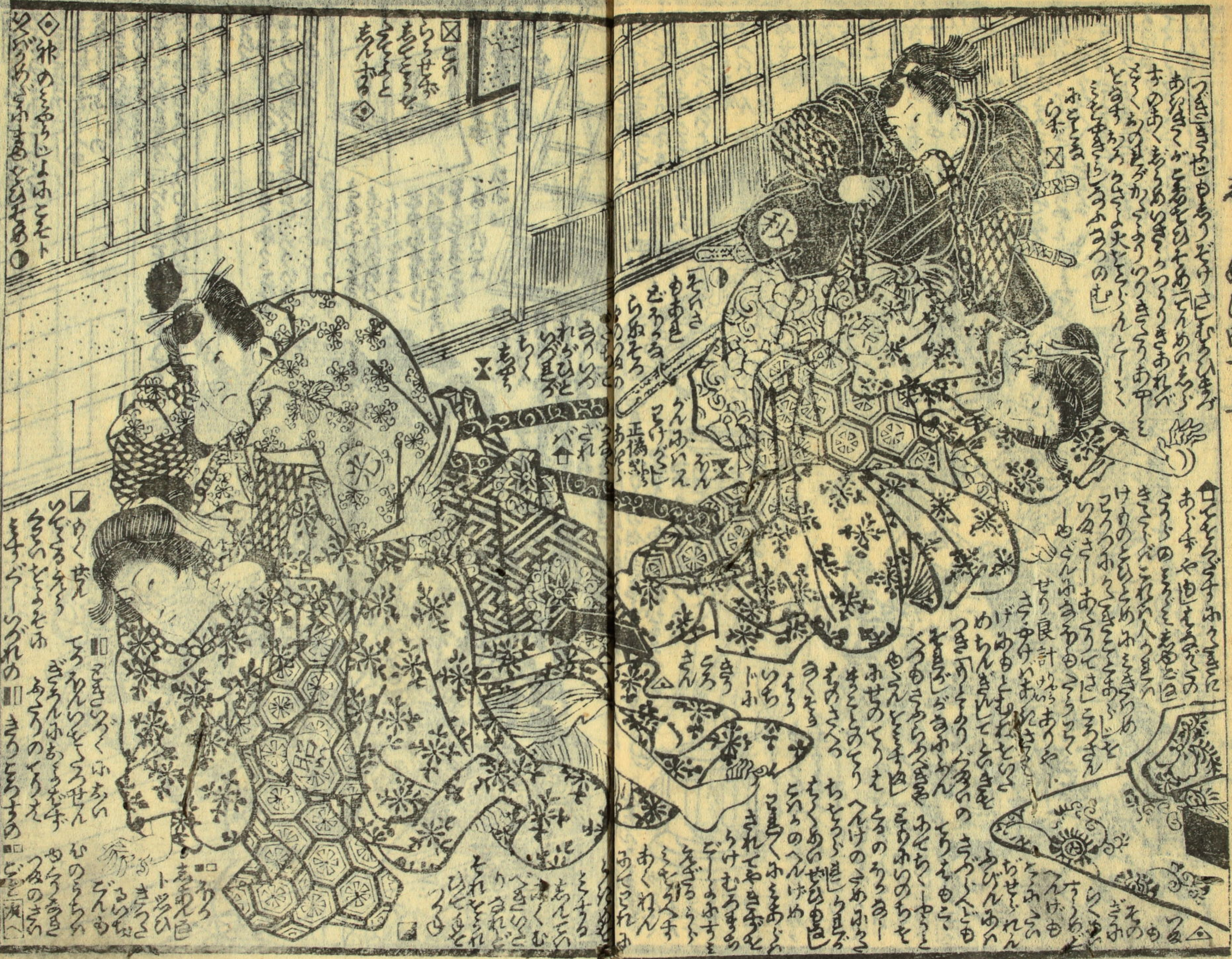
あつたひびきまうらむ
あきけぞめあひあや
すもあそをせうらうら
とぬすくあといり又ひ
あいらひのせうらうら
すざらあひあひあひ
あひらせりあひあひ
ありらうとあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ

あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ



あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ

あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ
あひらあひあひ



◇ 林のちやうじよはこま
ひらけりてあはれなる

◇ ちやうじよはこま
あはれなる

あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

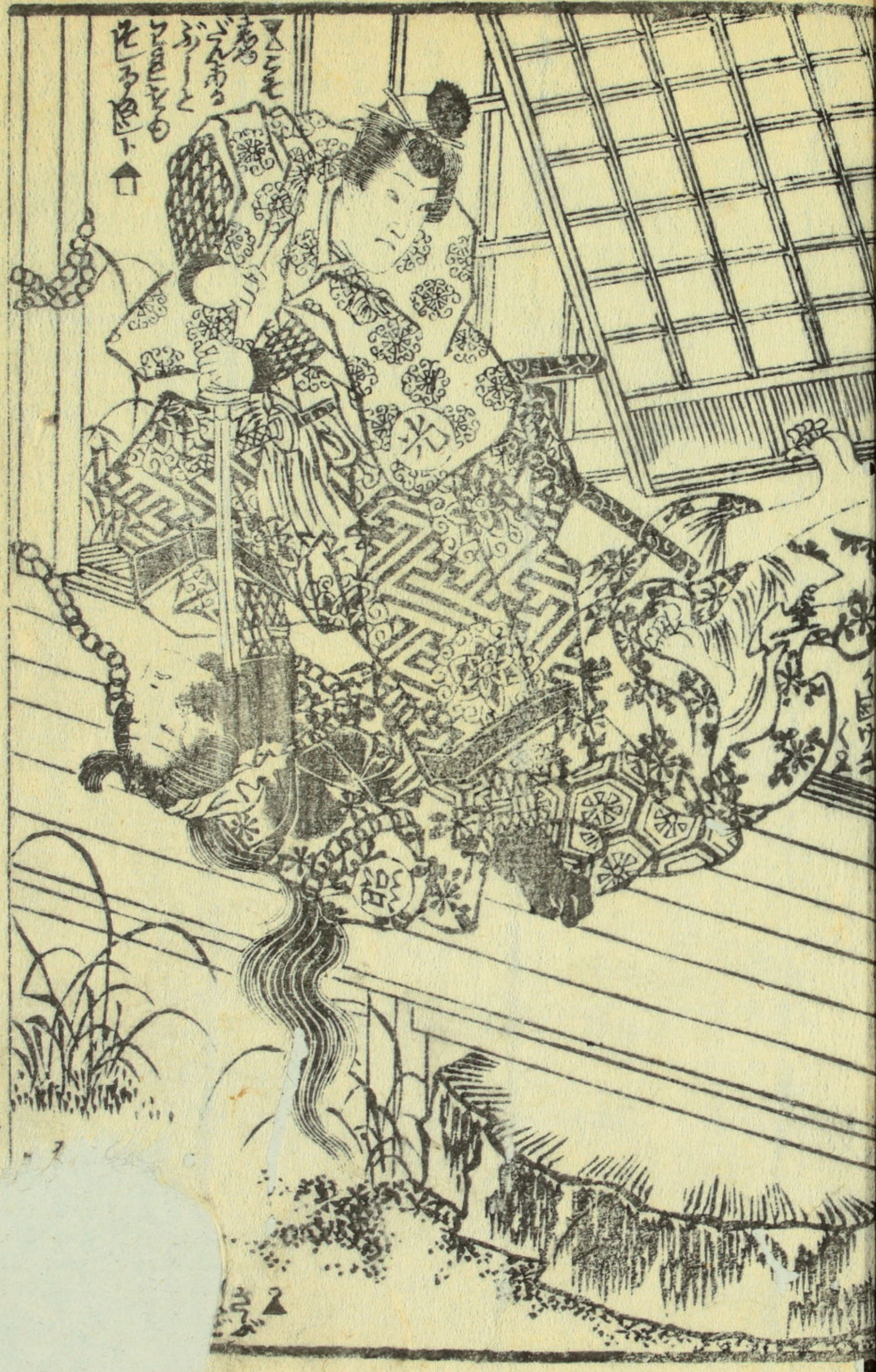
あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる

あはれなる

Small text in the upper right corner of the right page, likely a scene description or dialogue.

Small text in the upper middle of the right page, possibly a character name or a specific line of dialogue.



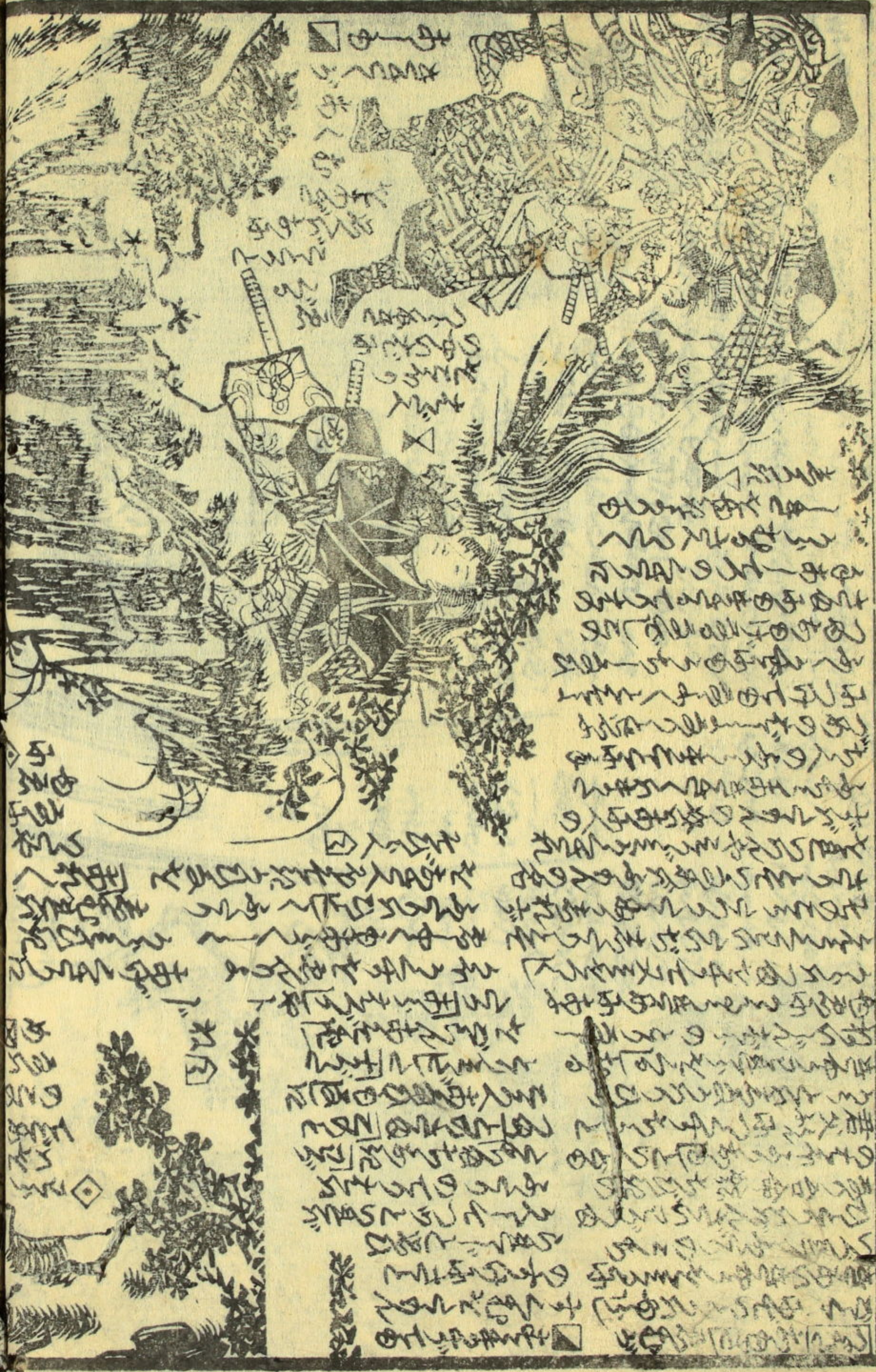
Small text in the upper left corner of the left page, likely a scene description or dialogue.

Handwritten text in the top left corner of the left page, including a square symbol and some illegible characters.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, including a circle symbol and some illegible characters.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script and arranged in several columns.



Handwritten text in the bottom left corner of the right page, including a diamond symbol and some illegible characters.

Handwritten text in the top left corner of the right page, including a square symbol and some illegible characters.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script and arranged in several columns.

Vertical handwritten text on the right edge of the notebook, including the number '15'.





田十の海下

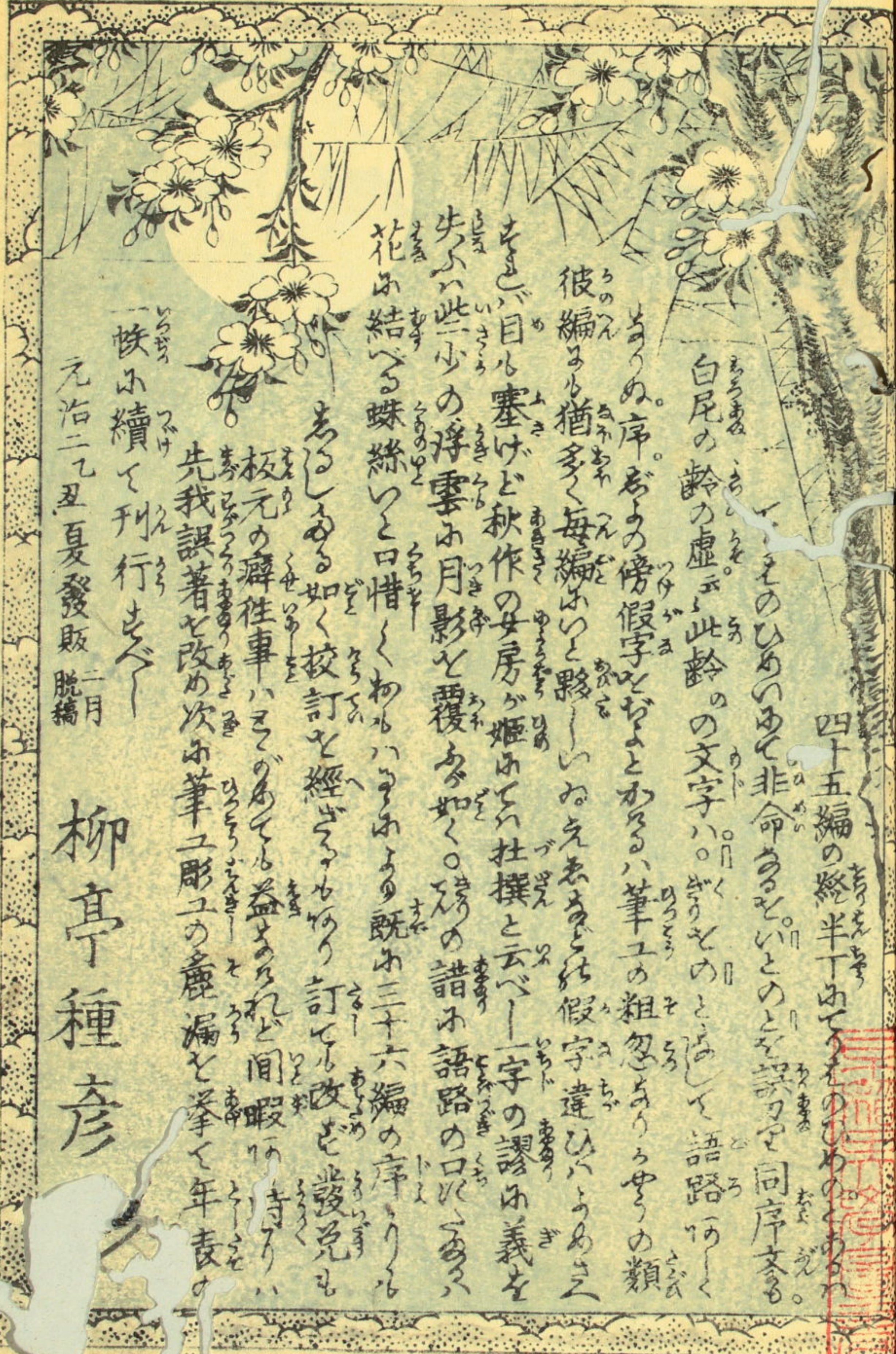
萬葉集卷之



田十の海上

奴 女 如 樂

侍 高 若



四五編の終半丁にてそのひめめを誤りて同序文を
 白尾の齡の虚云此齡の文字ハ。〇〇〇〇と誤りて語路ハ。〇〇〇〇
 彼の編も猶多く毎編のつととあるハ筆工の粗忽なりやその類
 先我誤著を改め次ハ筆工彫工の産漏を擧ぐ年表ハ
 板元の癖往事ハそのあても益々多けれど間暇ハ待りハ
 一帳小續て刊行せしむ

元治二乙丑夏發販 脱稿

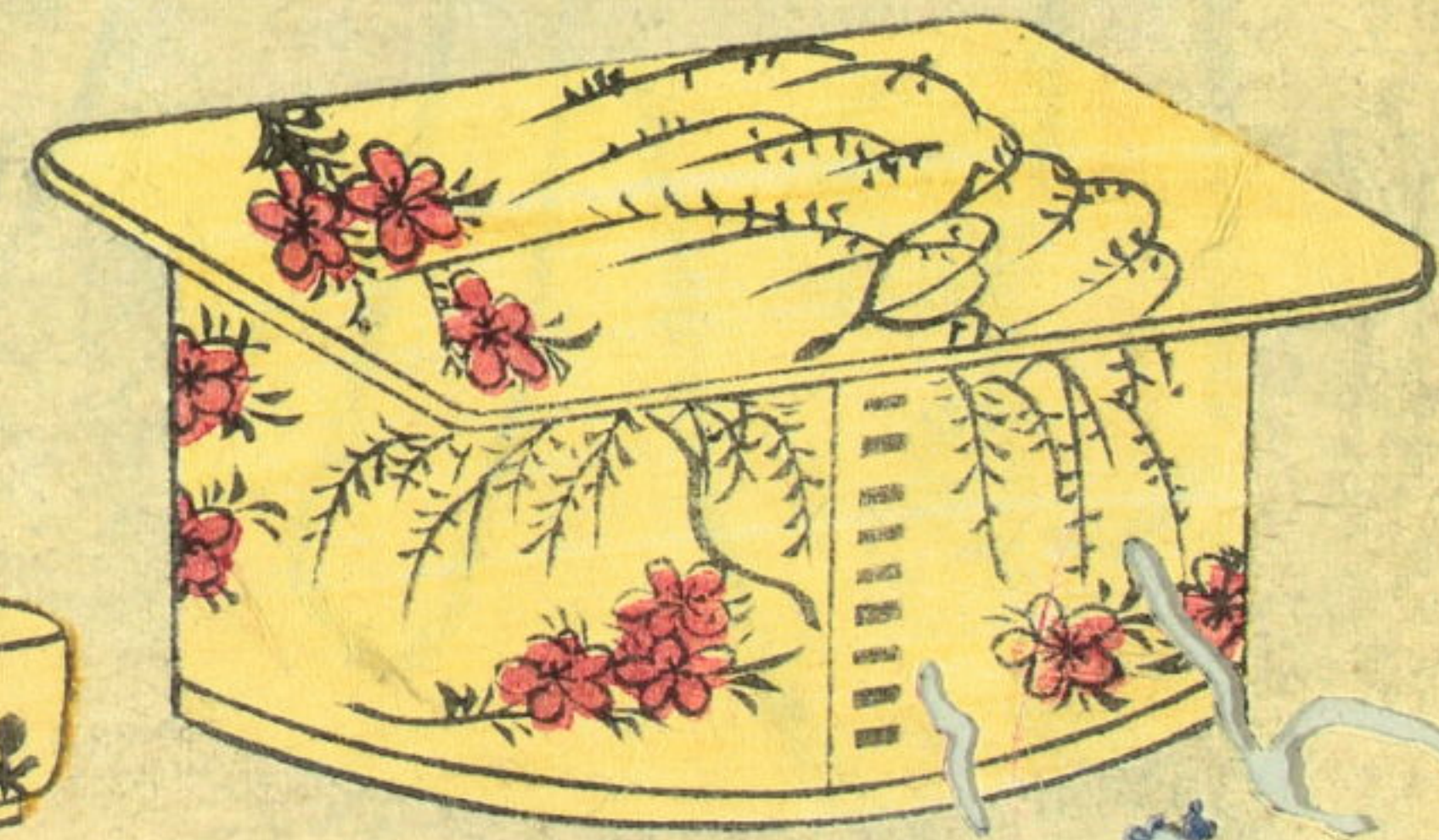
柳亭種彦

俳諧五節句

縮く終極せんぬ

柳亭種彦

~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~  
 ~~~~~



入道入道



賤女嗚呼魔

脱解猫

足利家御息所姫



明人金花奴

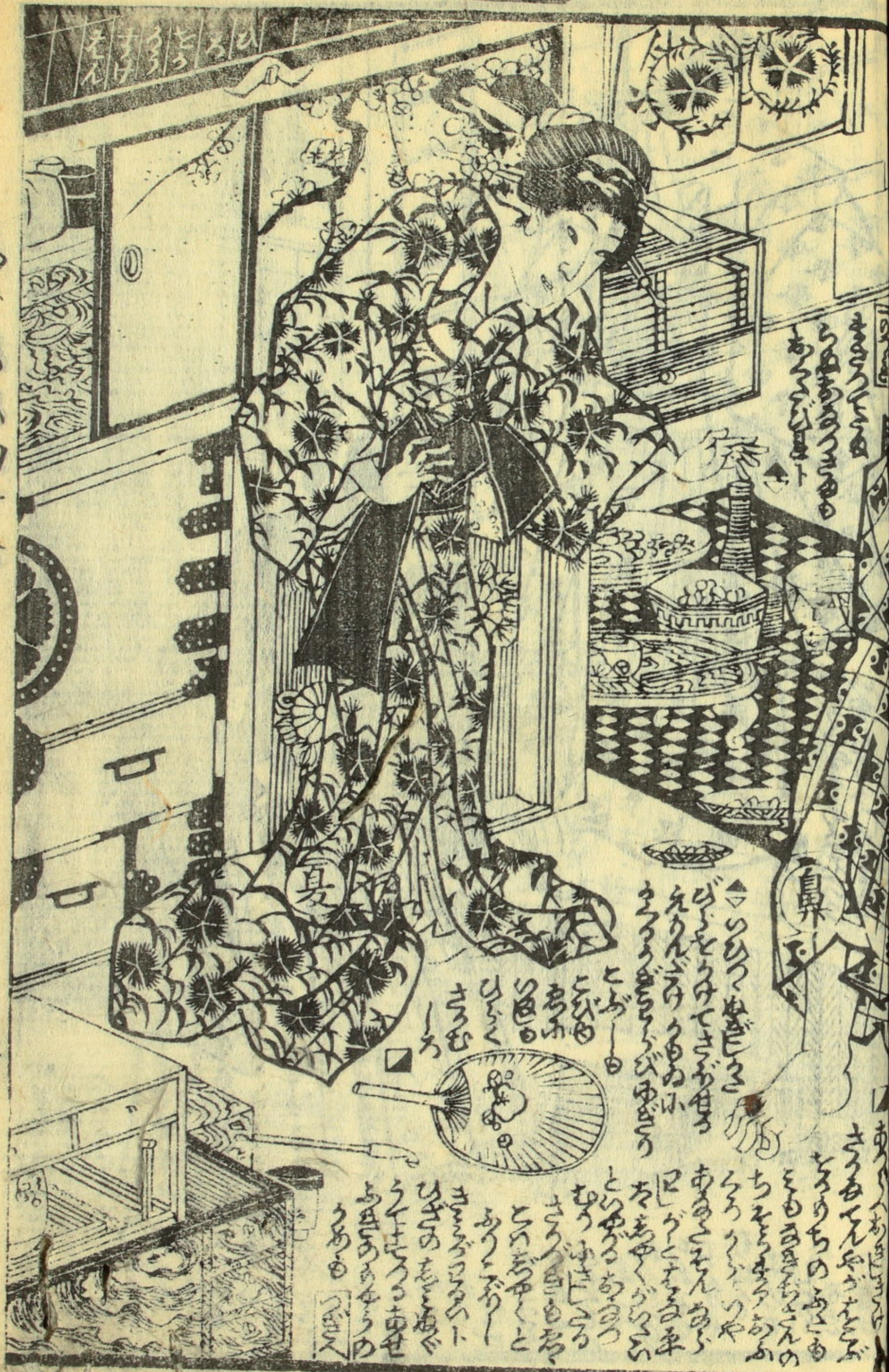
入道入道











夏

夏  
花  
文  
の  
着  
物  
は  
夏  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る

鼻

△のりつねいさ  
びりせりひてまぢ有  
えりんぢりくもわ  
まゝのりつねいさ  
まゝ

夏  
の  
着  
物  
は  
夏  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る  
花  
文  
の  
着  
物  
は  
夏  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る



野

野  
の  
着  
物  
は  
野  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る  
花  
文  
の  
着  
物  
は  
野  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る

野  
の  
着  
物  
は  
野  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る

野

野  
の  
着  
物  
は  
野  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る  
花  
文  
の  
着  
物  
は  
野  
の  
気  
分  
を  
表  
し  
て  
い  
る

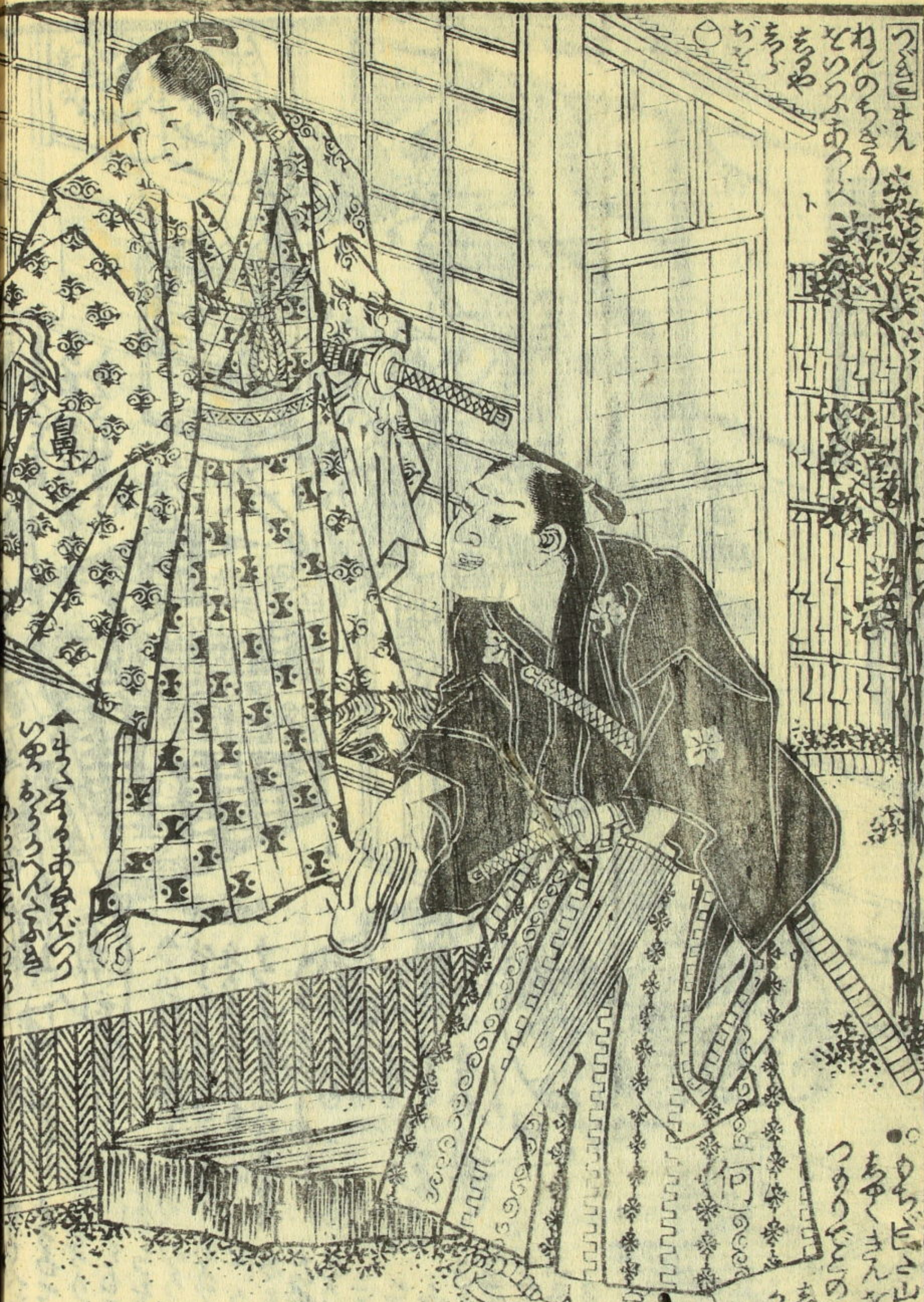


ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう

ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう

ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう

ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう



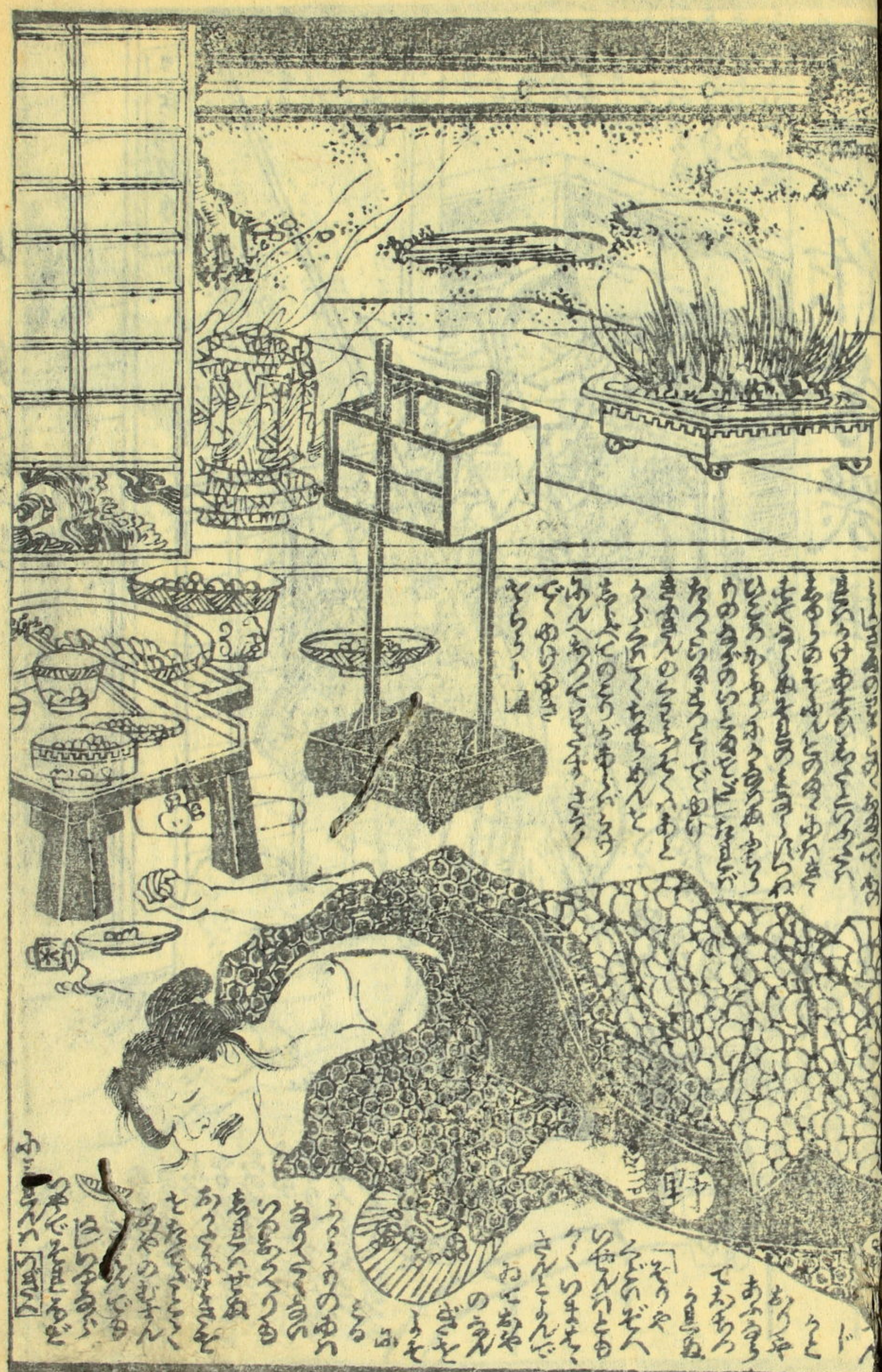
ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう

ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう

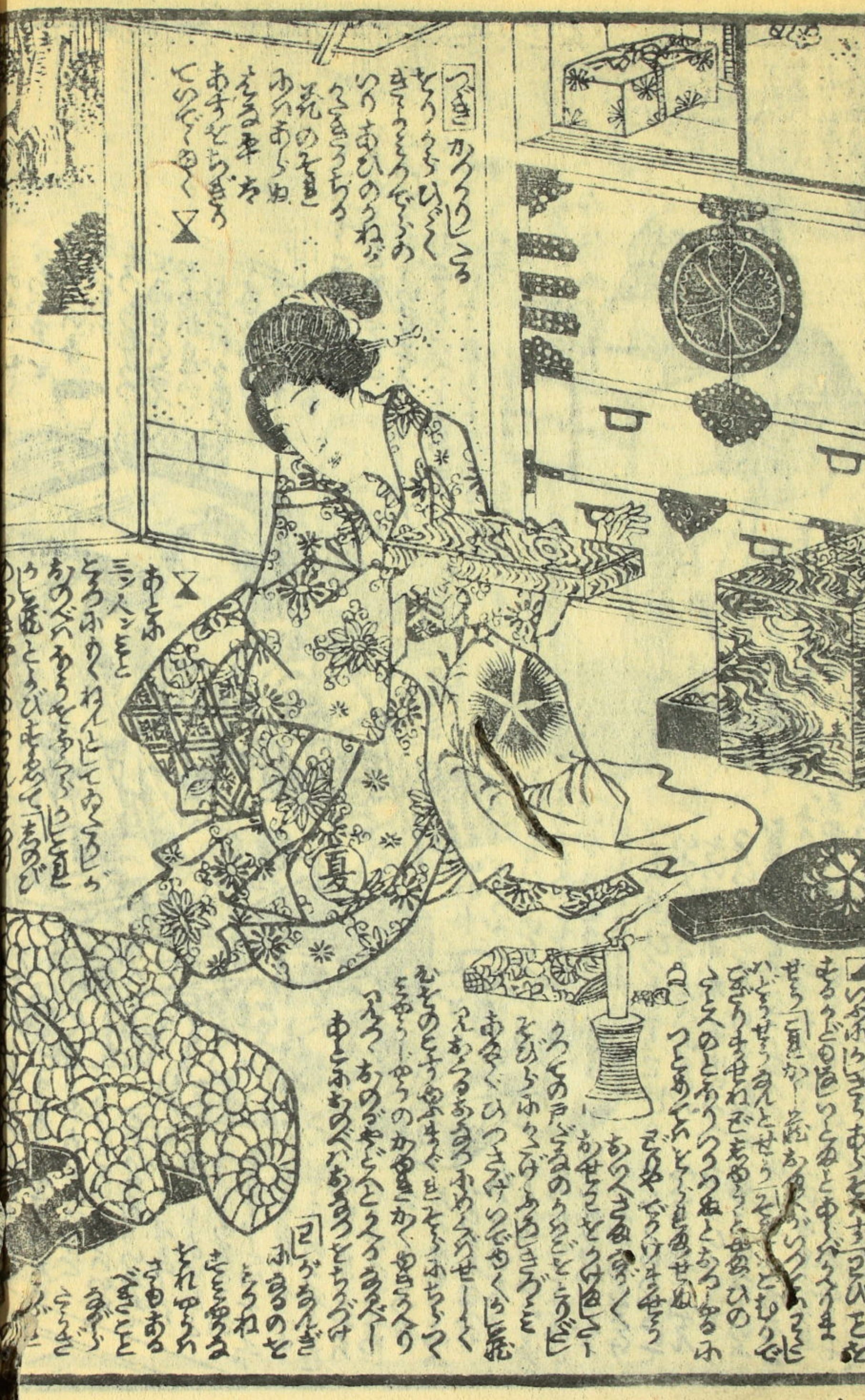
ついでに  
わんちのちやう  
どつちふあつ  
ちやう  
ちやう  
ちやう





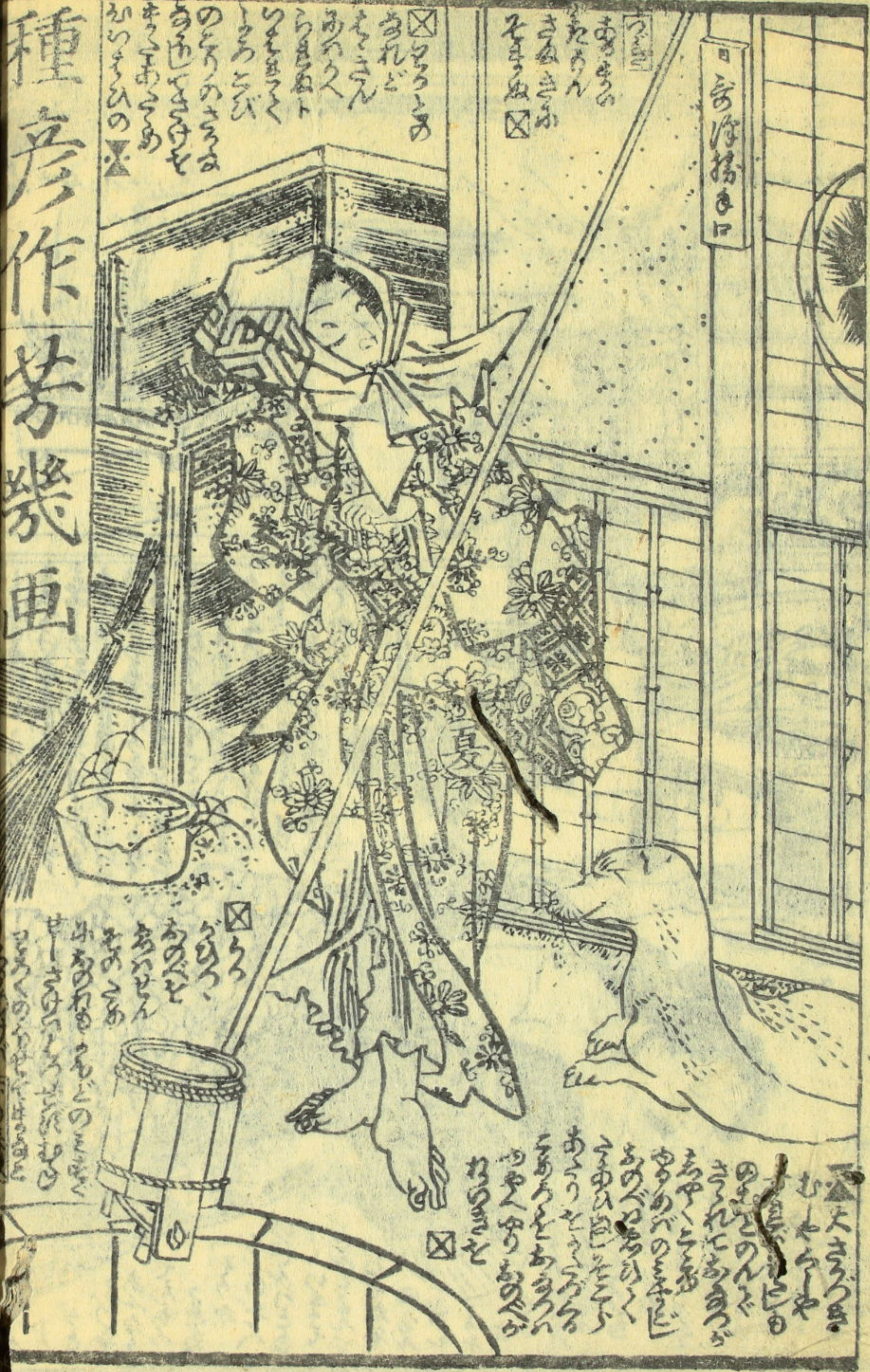


ちやうど  
 あらゆる  
 てあつた  
 うま  
 「その  
 んとぞん  
 のかんとも  
 けいりま  
 さんらん  
 おてあ  
 のえん  
 びそ  
 しょう  
 こら  
 うら  
 ちやうど  
 あらゆる  
 てあつた  
 うま  
 「その  
 んとぞん  
 のかんとも  
 けいりま  
 さんらん  
 おてあ  
 のえん  
 びそ  
 しょう  
 こら



ちやうど  
 あらゆる  
 てあつた  
 うま  
 「その  
 んとぞん  
 のかんとも  
 けいりま  
 さんらん  
 おてあ  
 のえん  
 びそ  
 しょう  
 こら

ちやうど  
 あらゆる  
 てあつた  
 うま  
 「その  
 んとぞん  
 のかんとも  
 けいりま  
 さんらん  
 おてあ  
 のえん  
 びそ  
 しょう  
 こら



おののま

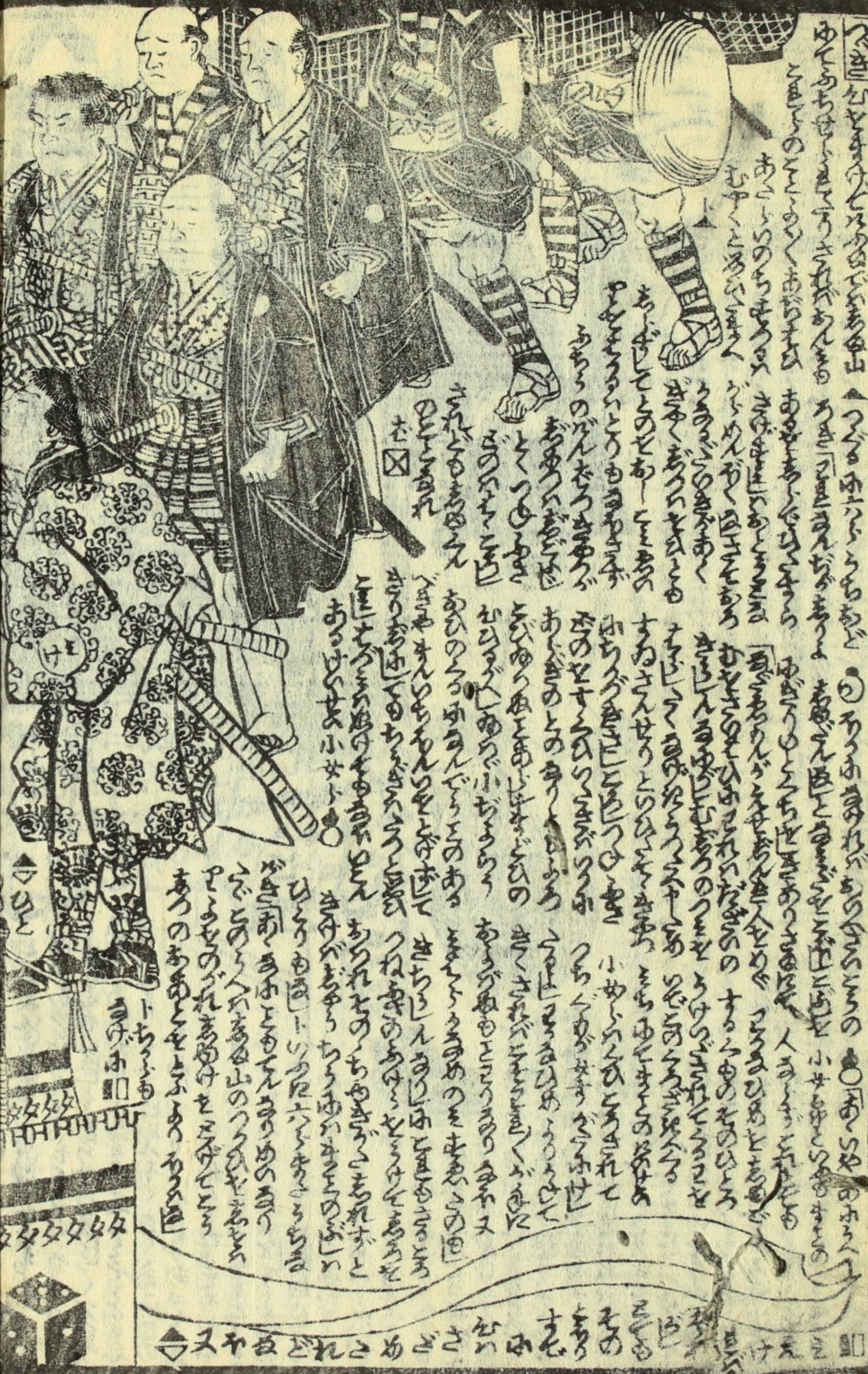
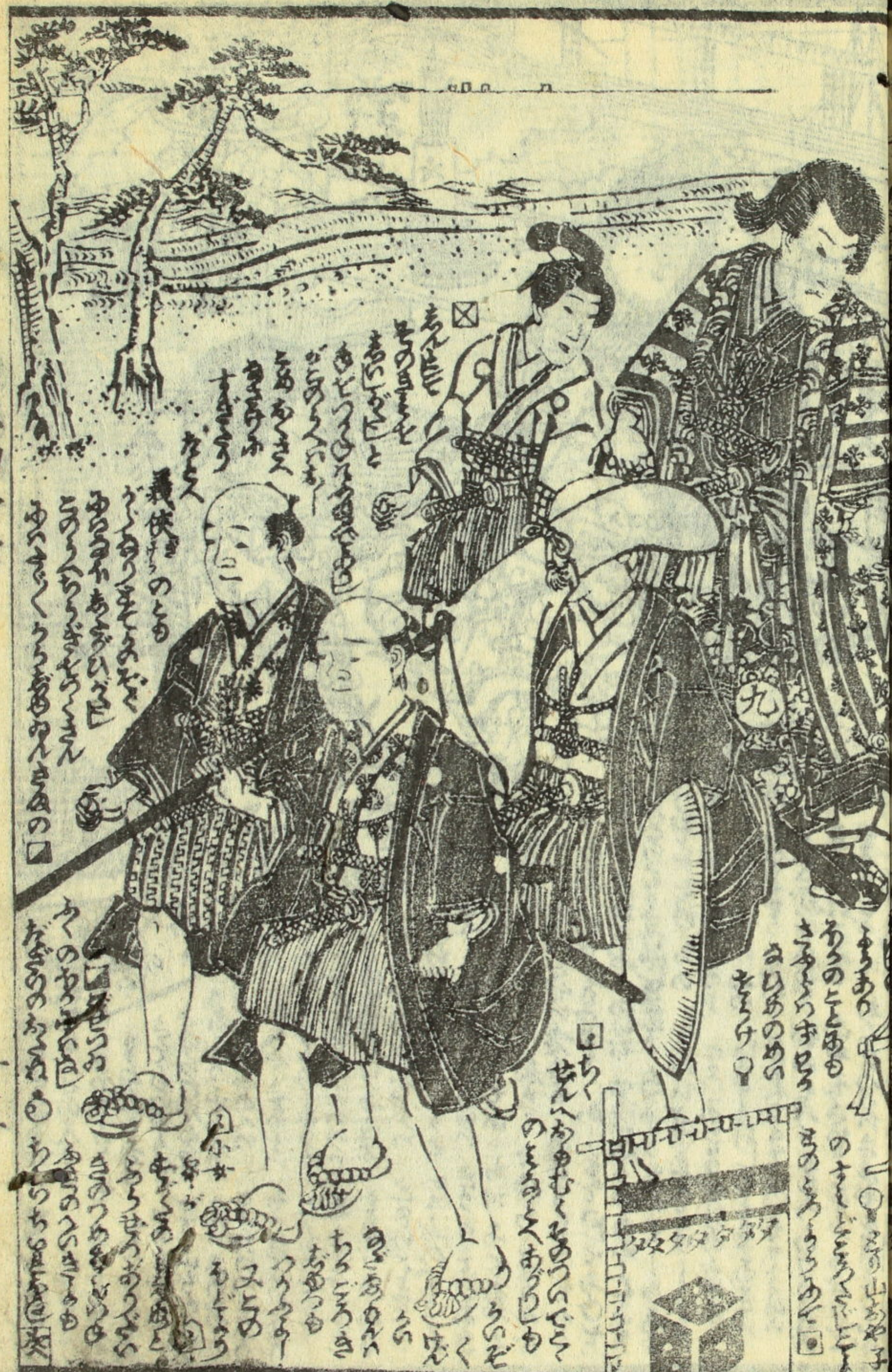
+











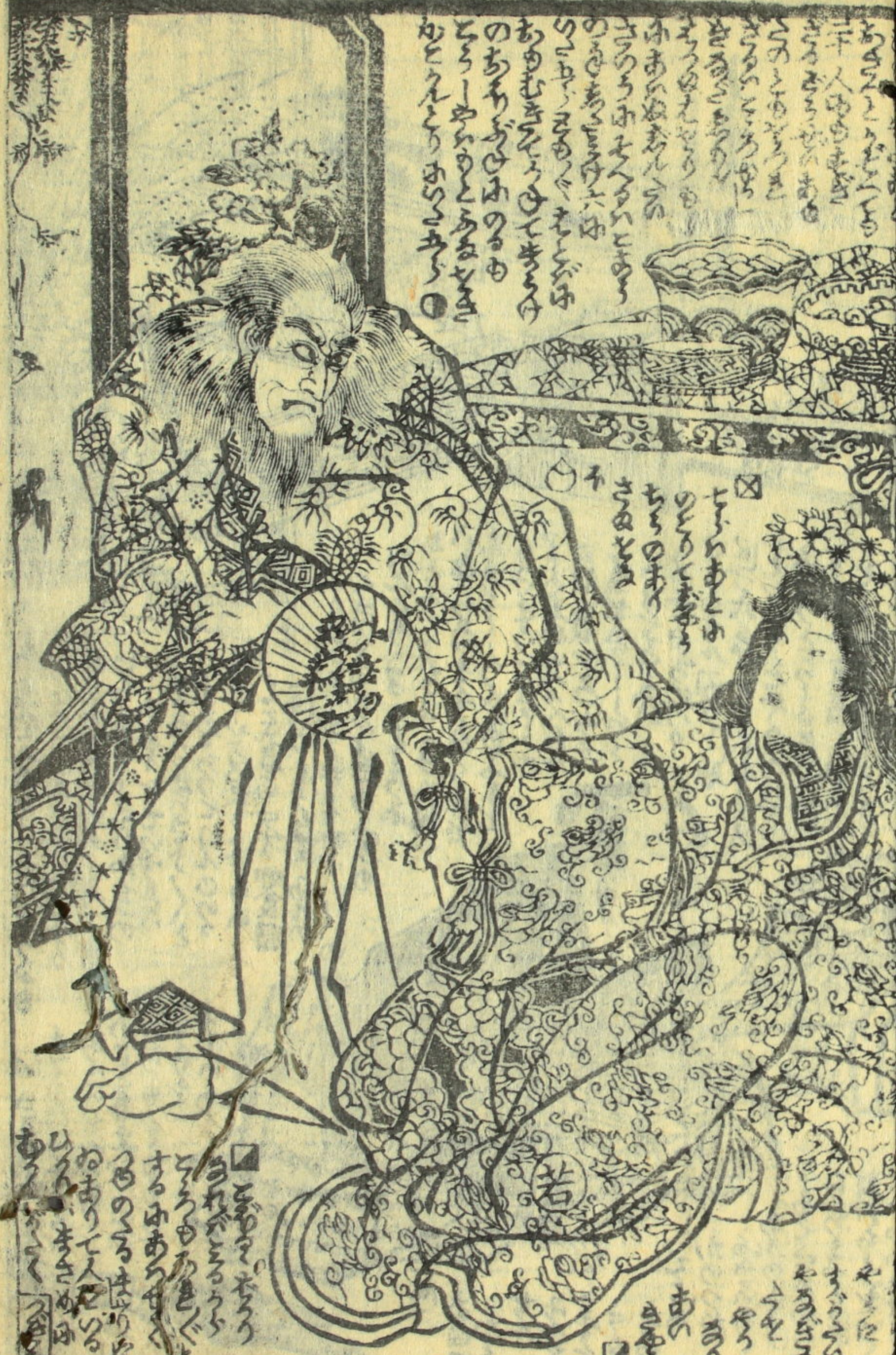
又平政とれ之め



Handwritten text on the right edge of the page, possibly a chapter or section title.

Handwritten text in the top right corner of the left page.

Large block of handwritten text in the upper middle section of the left page.



Small handwritten text block located between the man and woman in the illustration.

Small handwritten text block at the bottom left of the left page.

Small handwritten text block at the bottom center of the left page.

Handwritten text in the top right corner of the right page.

Large block of handwritten text in the upper middle section of the right page.



Large block of handwritten text in the lower middle section of the right page.

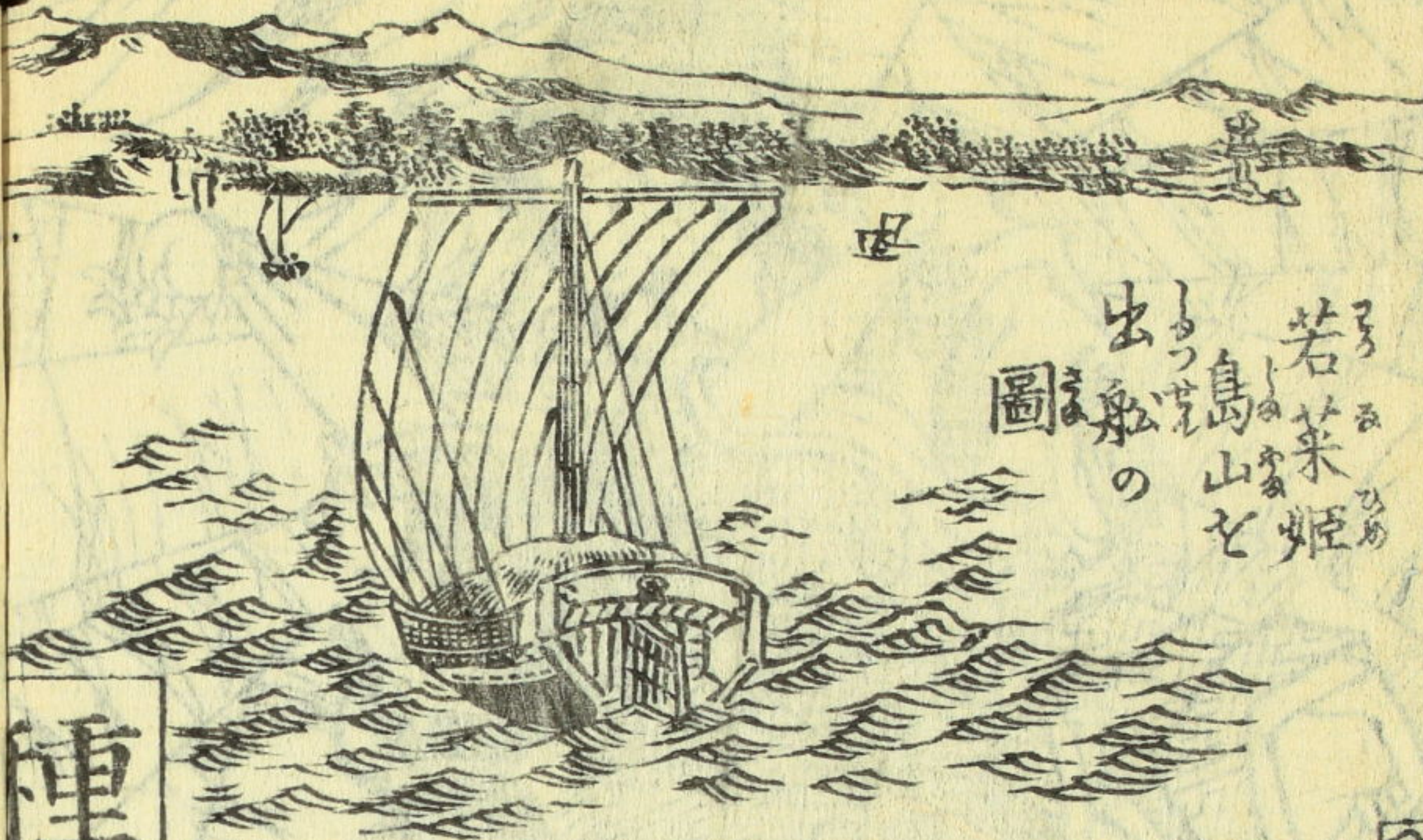






若菜姫

若菜姫の  
出島山を  
出船の  
圖



若菜姫の物語

四五人のあつた

ひたひたのあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

地本草紙問屋源兵衛所廣岡屋幸助版

若菜姫

若菜姫の物語

四五人のあつた

ひたひたのあつた

大傳

八編

假名垣魯文録

柳春秋色

山言

柳春秋色

柳春秋色

山言



